

第52期第2四半期連結累計期間 決算説明資料

(2017年4月1日 ~ 2017年9月30日)

株式会社 **工ノモト**



【会社名】 株式会社 **工ノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 **JASDAQ**

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

【問合せ先】 経営企画部 久嶋光博

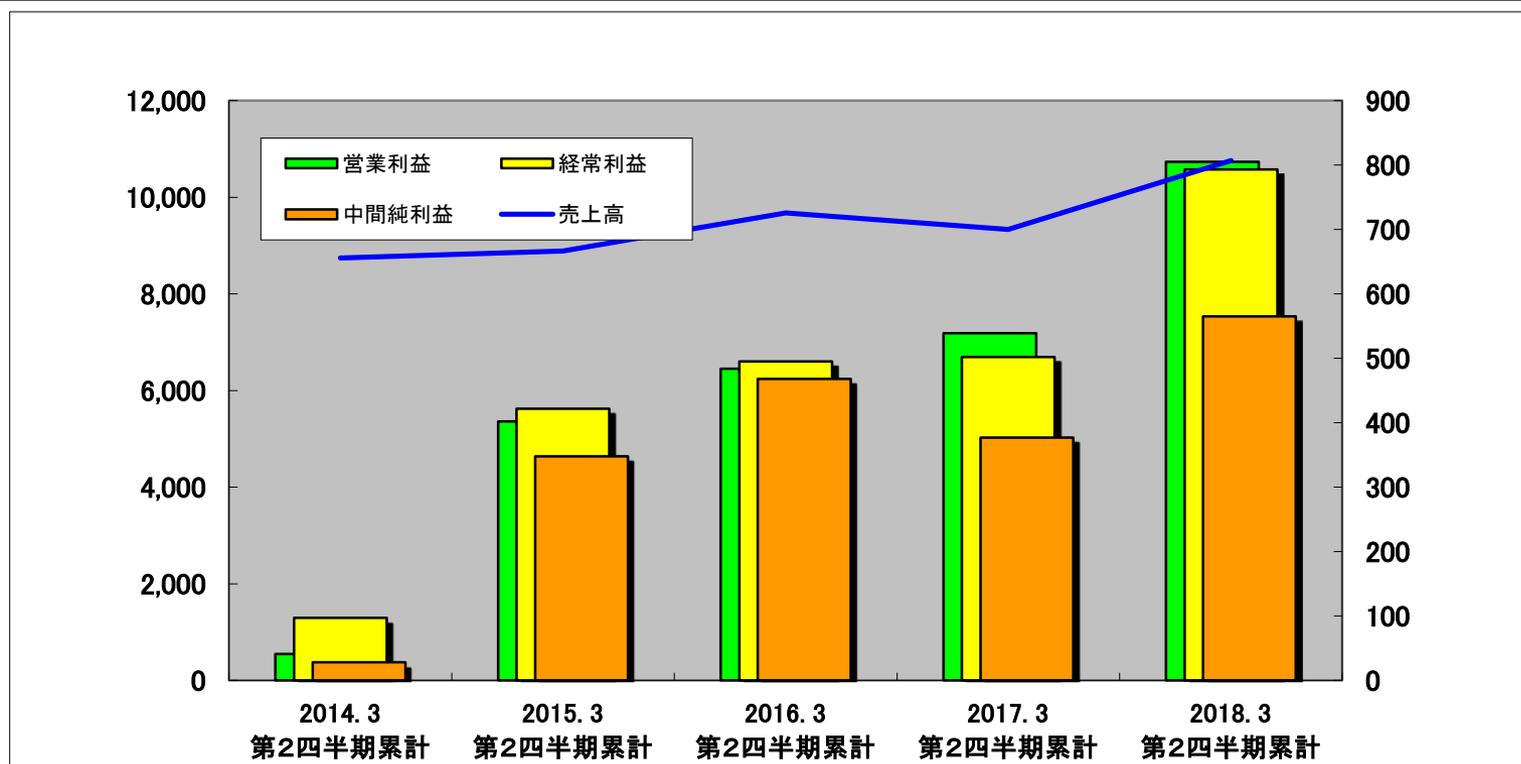
【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)

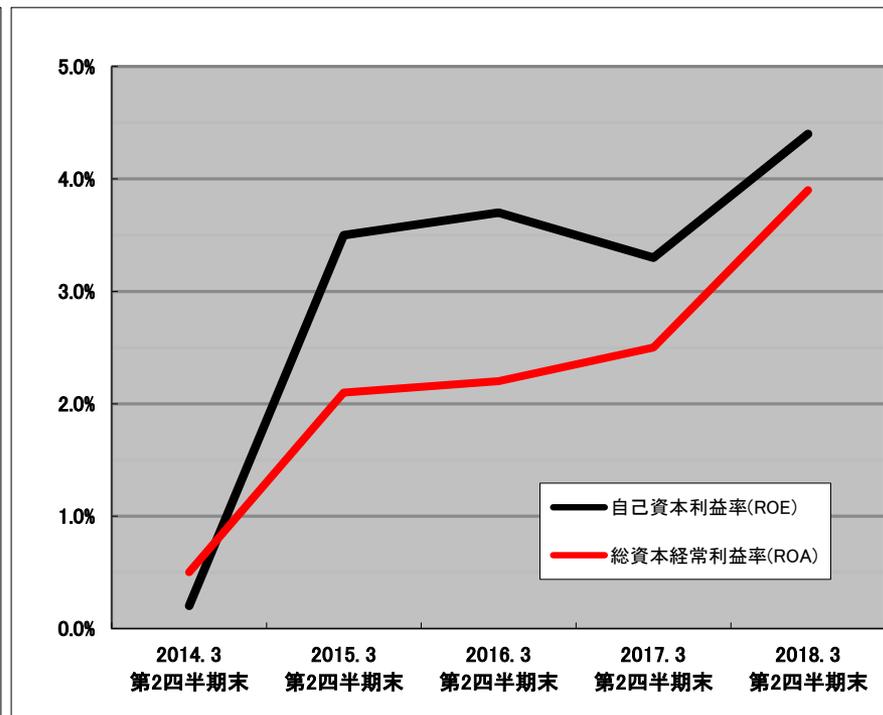
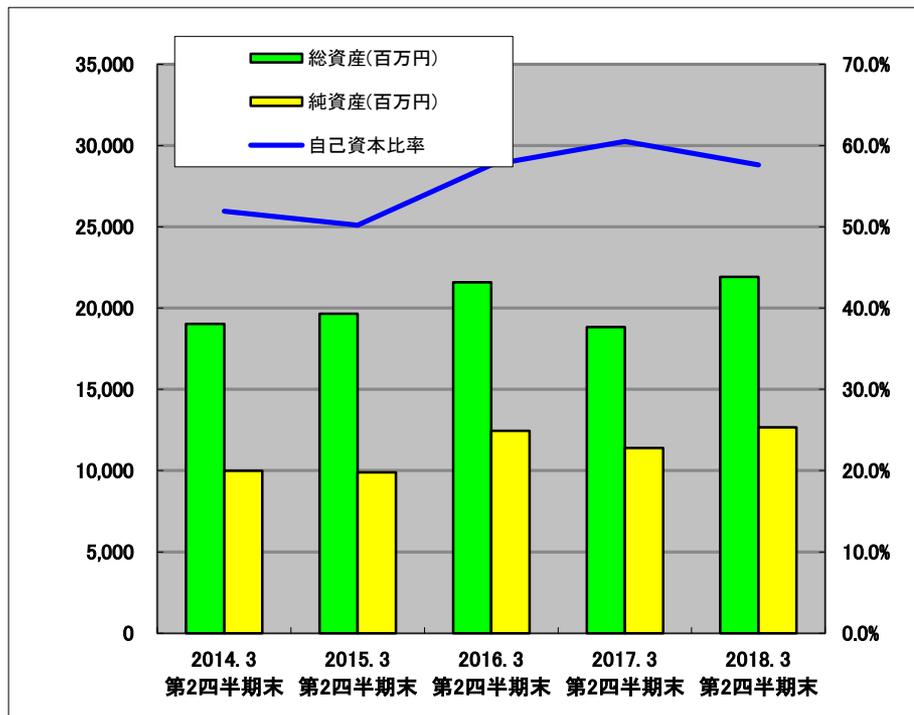
第2四半期連結累計
期間のご報告

百万円



	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2017.3 第2四半期累計	2018.3 第2四半期累計	前期比
売上高	8,741	8,888	9,675	9,337	10,760	15.2%増
営業利益	41	402	484	539	805	49.2%増
営業利益率	0.5%	4.5%	5.0%	5.7%	7.4%	1.7P増
経常利益	97	422	495	502	793	57.8%増
経常利益率	1.1%	4.7%	5.1%	5.3%	7.3%	1.9P増
中間純利益	28	348	468	377	565	49.9%増
中間純利益率	0.3%	3.9%	4.8%	4.0%	5.2%	1.2P増

百万円



	2014.3 第2四半期末	2015.3 第2四半期末	2016.3 第2四半期末	2017.3 第2四半期末	2018.3 第2四半期末
総資産(百万円)	19,037	19,660	21,587	18,839	21,918
総資産回転率	46.0%	45.2%	44.8%	46.1%	52.8%
純資産(百万円)	9,986	9,884	12,449	11,398	12,657
自己資本比率	51.9%	50.2%	57.6%	60.5%	57.6%
自己資本利益率(ROE)	0.2%	3.5%	3.7%	3.3%	4.4%
総資本経常利益率(ROA)	0.5%	2.1%	2.2%	2.5%	3.9%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調な輸出や雇用環境の改善による個人消費の回復にけん引され、引き続き成長基調が維持されております。また、2016年末以降の円安に後押しされた企業収益の増大の影響もあり、設備投資や冬季賞与等に関して増加が見通されております。

海外におきましては、アメリカ経済では8月に発生した大規模なハリケーン災害の影響により、一時的に鉱業や製造業を中心とした落ち込みが発生いたしましたが、年末に向けては災害復興需要なども見込まれるなど、全体的には回復基調にあります。ヨーロッパ経済においては、イギリスではEU離脱に伴う先行き不安感依然として根強く、ポンド安を支えとしたインバウンド需要にも5月から6月にかけて発生したテロの影響から陰りが見えております。ユーロ圏全体では緩やかな成長基調を維持し、雇用環境の改善により個人消費が堅調に回復しております。中国経済においては、景気の過剰な加速の統制を目的とした、政府による投資抑制が開始された影響もあり減速感が表出している面もありますが、個人消費は引き続き好調に推移しております。

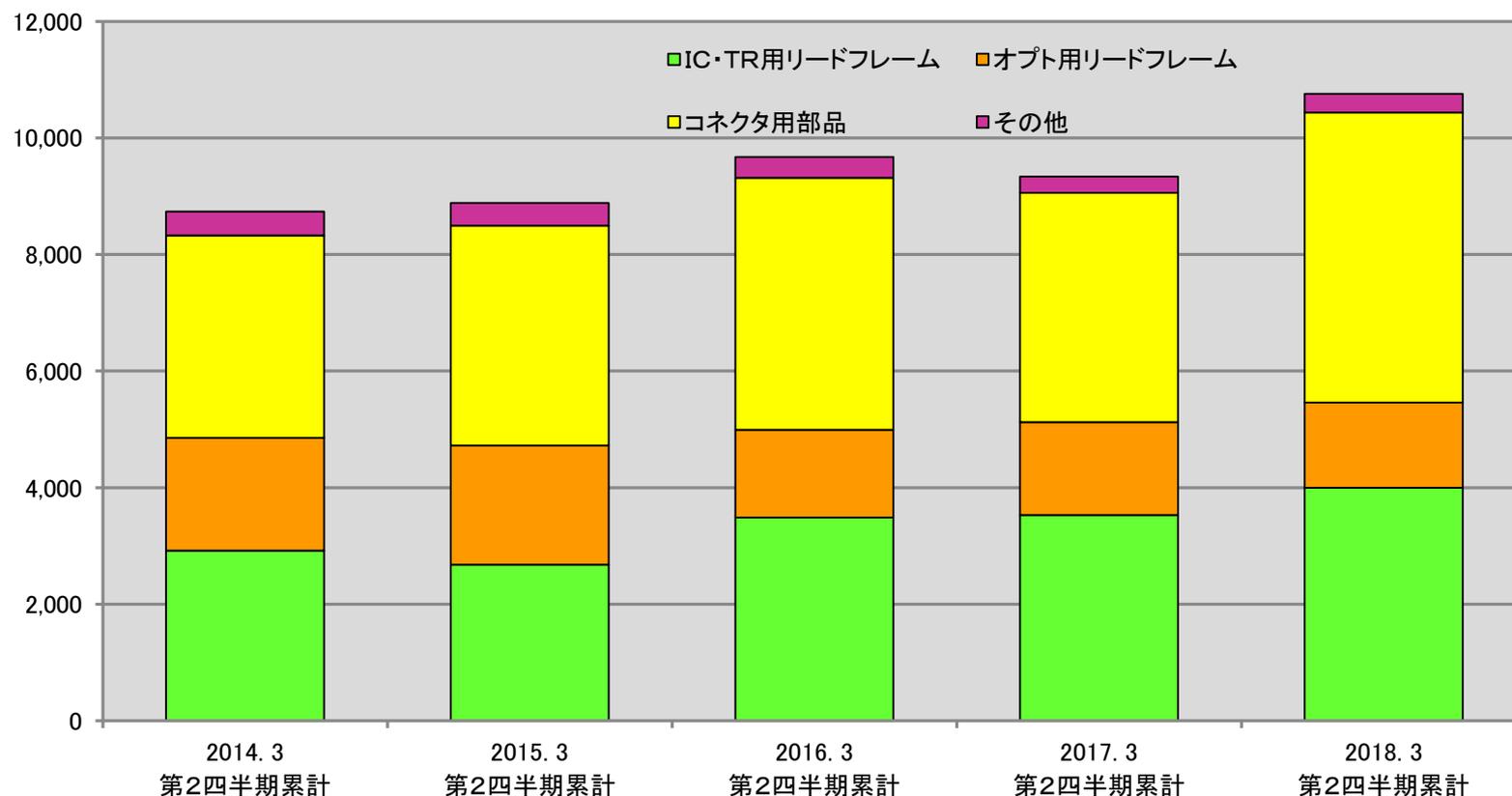
当社グループの属する電子部品業界におきましては、スマートフォン用部品は中国メーカーの需要が依然として高水準を維持しており、北米メーカーの新規モデルも加わっております。また、自動車向け部品やIoTを支えるセンサー関連部品につきましても、市場は堅調に成長しております。

このような状況下、当社グループは更なる品質の改善と製造工程の自動化・効率化による製造コスト低減を組織的に推進し、売上及び収益力の向上に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は107億6千万円(前年同四半期比15.2%増)、営業利益は8億5百万円(同49.2%増)、経常利益は7億9千3百万円(同57.8%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は5億6千5百万円(同49.9%増)となりました。

■製品群別業績(売上高)

百万円



	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2017.3 第2四半期累計	2018.3 第2四半期累計
IC・TR用リードフレーム	2,923	2,679	3,487	3,528	3,998
オプト用リードフレーム	1,932	2,045	1,505	1,598	1,465
コネクタ用部品	3,472	3,773	4,326	3,932	4,973
その他	413	390	355	277	321
	8,740	8,887	9,673	9,337	10,760

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車の電装化率の上昇と一部の民生用機器向け部品の需要が引き続き堅調に推移しました。その結果、当製品群の売上高は39億9千8百万円(前年同四半期比13.3%増)となりました。

② オプト用リードフレーム

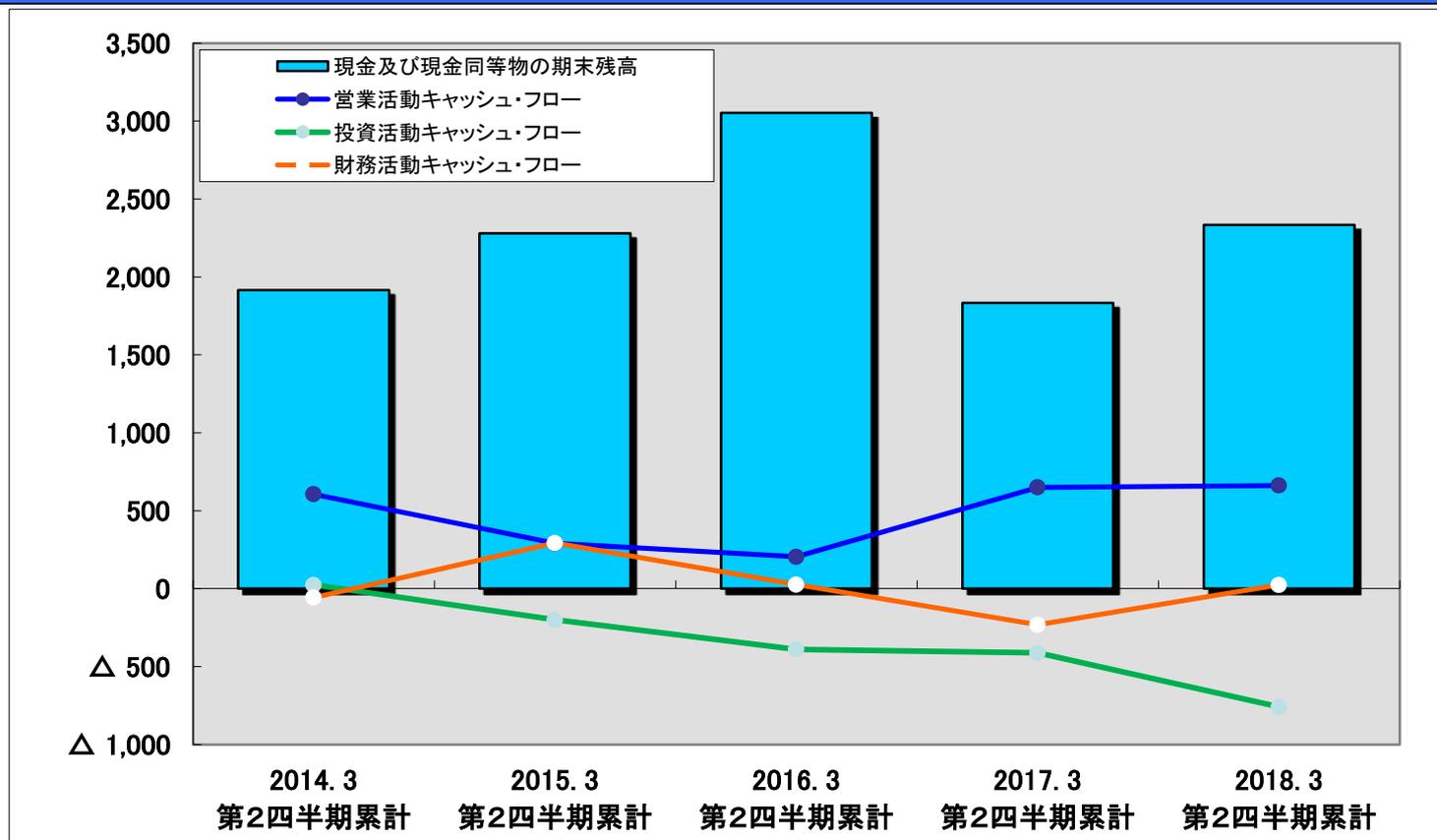
当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。自動車向け、照明向けが中心であります。LED市場低価格化の影響から低価格モデルの受注が増加しました。その結果、当製品群の売上高は14億6千5百万円(同8.2%減)となりました。

③ コネクタ用部品

当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、ハイエンドスマートフォン向け部品が中心であり、中国メーカー向け部品の需要は引き続き高い水準で推移しており、北米メーカー製新規モデル向けの部品も加わりました。その結果、当製品群の売上高は49億7千3百万円(同26.4%増)となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は3億2千1百万円(同15.8%増)となりました。



百万円

	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2017.3 第2四半期累計	2018.3 第2四半期累計	前期比
営業活動キャッシュ・フロー	606	291	205	650	662	1.8%増
投資活動キャッシュ・フロー	24	△ 200	△ 389	△ 412	△ 759	84.0%減
財務活動キャッシュ・フロー	△ 57	293	26	△ 232	24	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,916	2,280	3,052	1,833	2,335	27.3%増

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結会計期間末に比べ5億1百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には23億3千5百万円となりました。

➤営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は6億6千2百万円(前年同四半期比1.8%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益7億5千7百万円、減価償却費4億8千2百万円及び仕入債務の増加6億6百万円による資金の増加、売上債権の増加8億2千4百万円及び法人税等の支払2億1千9百万円による資金の減少によるものであります。

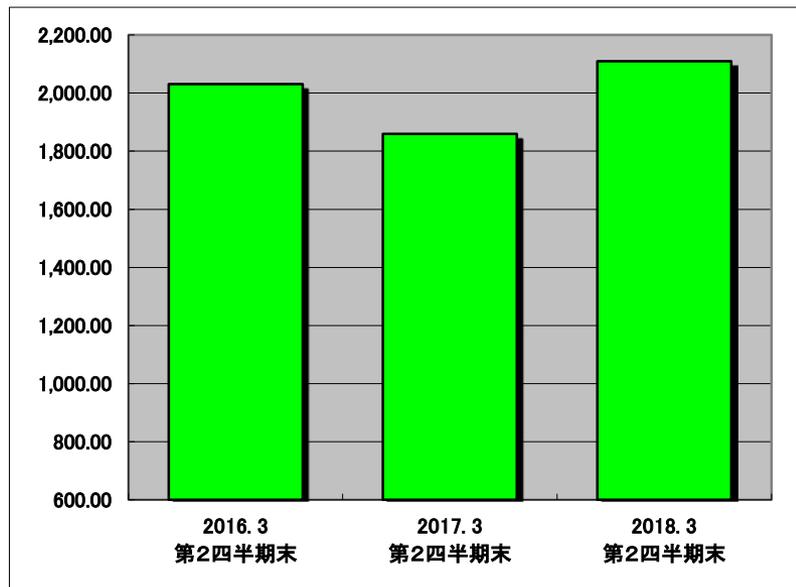
➤投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は7億5千9百万円(同84.0%増)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出7億5千万円によるものであります。

➤財務活動によるキャッシュ・フロー

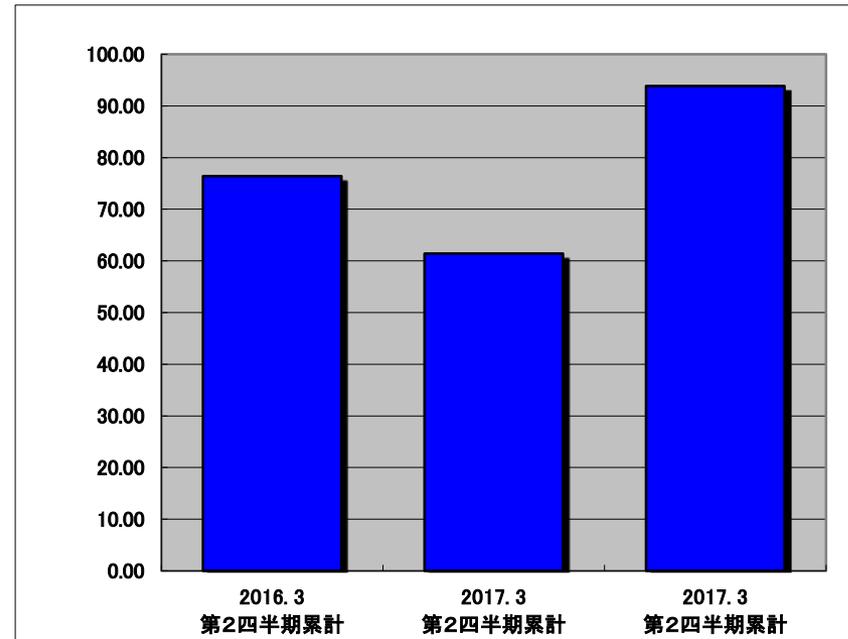
財務活動の結果獲得した資金は2千4百万円(前年同四半期は2億3千2百万円の使用)となりました。これは主に長期借入による収入3億2百万円、長期借入金1億7千4百万円の返済及び配当金1億4千9百万円の支払によるものであります。

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)

円



	2016.3 第2四半期末	2017.3 第2四半期末	2018.3 第2四半期末
1株当り純資産(連結)	2,031.20	1,859.36	2,109.70
1株当り中間純利益(連結)	76.42	61.45	93.85

○株式等の状況

平成29年8月25日開催の取締役会の決議により、平成29年10月1日付で1株を4株とする株式分割を行っております。

これにより提出日現在の発行済株式総数は4,604,520株増加し、6,139,360株となっております。

2018年3月期
の見通し

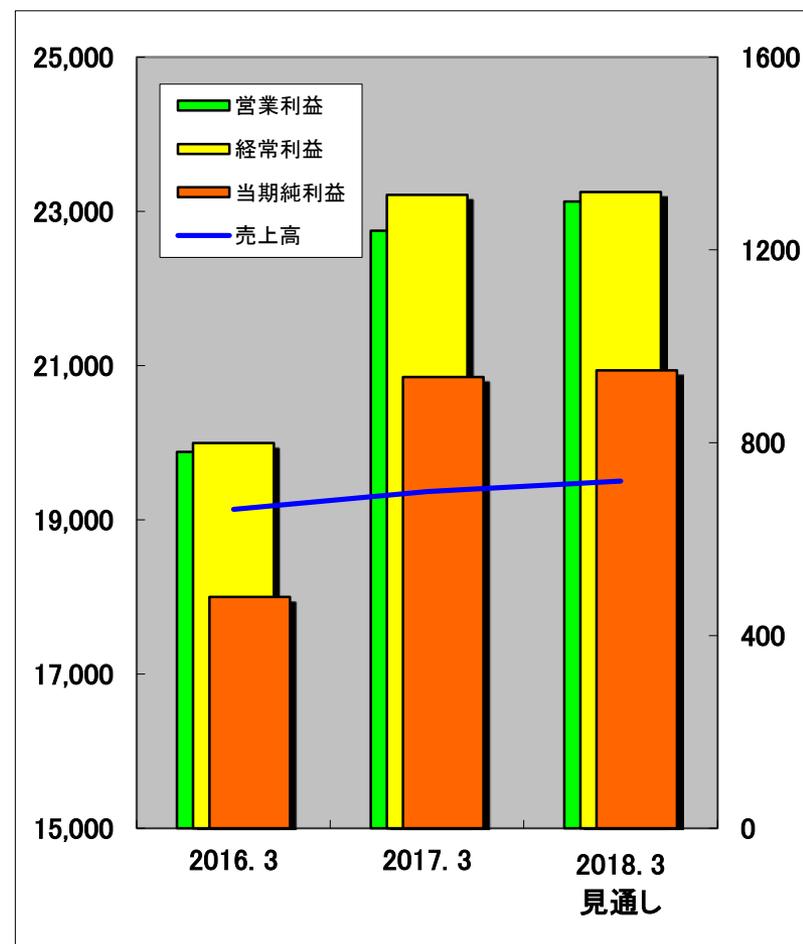
■通期業績予想(連結)

百万円

	2016. 3	2017. 3	2018. 3 見通し	前期比
売上高	19,135	19,366	19,500	0.7%増
営業利益	781	1,240	1,300	4.8%増
営業利益率	4.0%	6.4%	6.6%	0.2P増
経常利益	799	1,314	1,320	0.5%増
経常利益率	4.1%	6.7%	6.7%	0.0P増
当期純利益	480	936	950	1.4%増
当期純利益率	2.5%	4.8%	4.8%	0.0P増

売上
百万円

営業利益
百万円



配当予想の修正について

(1) 修正の理由

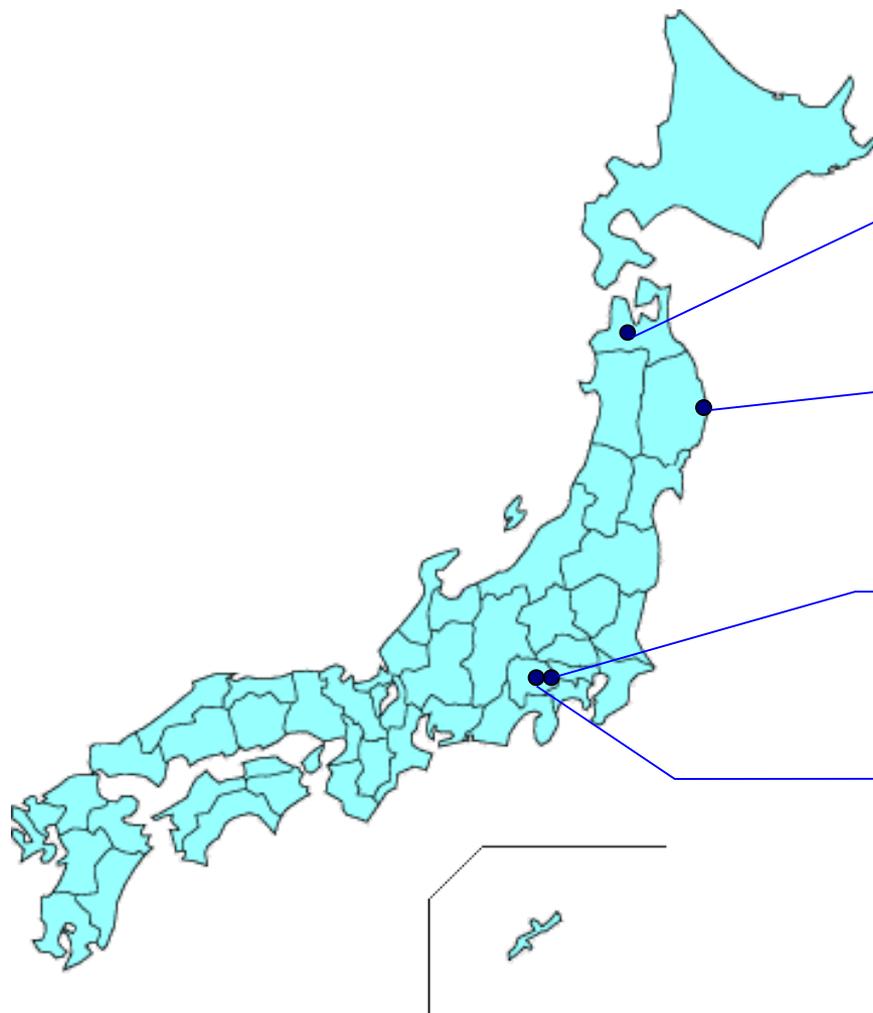
今回普通株式1株を4株に分割することに伴い、平成29年5月12日公表の「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の平成30年3月期の期末配当予想額を以下のとおり修正いたします。

なお、下記配当の修正は、株式分割に伴い1株当たりの配当金額を修正するものであり、配当予想に実質的な変更はありません。

(2) 修正の内容

	年 間 配 当 金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成29年5月12日)	—	0.00	—	100.00	100.00
今 回 修 正 予 想	—	0.00	—	25.00	25.00
当 期 実 績	—				
前 期 実 績 (平成29年3月期)	—	0.00	—	100.00	100.00

補足資料



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

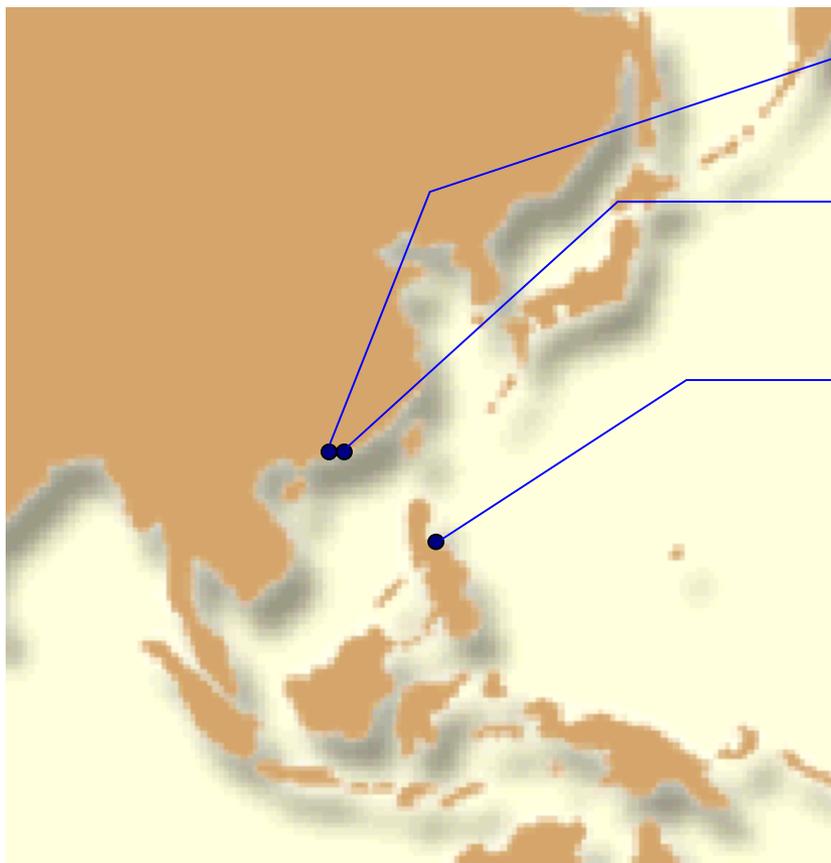
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park, Javalera, General Trias, Cavite, Philippine
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

ENOMOTO Co.,Ltd.